

長野県神城断層地震

～地震の被害が多かった、長野県白馬村神城付近の現地踏査～

11月22日に長野県北部で発生した地震では、長野市、小川村、小谷村で震度6弱が白馬村、信濃町で震度5強が観測され、大きな被害が発生しました。その中で被害の大きかった付近には当社工法の堰堤や擁壁も施工されており、地震による影響がないか状況を把握すべく調査致しました。



■ 林業専用 道海道沢線/大北森林組合（長野県）

工 法：スーパーブロック・ノン（SBLN）：Hmax=6.6m、ブロック・ノン（BLN）：Hmax=4.2m

完 成：いずれも完成は11月上旬、地震直前に完成

現 場：震源地から約6km。

この現場手前で工事中の砂防堰堤工事用道路で、水路とコンクリート舗装がずれて5cm程度の隙間が出来ていた。

地震後の状態：

BLN、SBLNともに壁面の変状なし。路面などにクラックもなし。損傷した様子は見当たらず、健全と思われる。

■白馬スノーハーブ/白馬村役場（長野県）

工 法：Newギャビオン（New GBN）壁面に半割丸太を取付

完 成：2013年11月に完成（半割丸太取付2014年6月）

現 場：震源地から約8.5km。

長野オリンピックのクロスカントリー会場となった場所。

地震後の状態：

自在性に特長をもつGBNだが、天端やつま先に動いた形跡はない。中詰めの栗石が振動によるためか若干下がった様子が伺えるが、健全な状態と思われる。



■沢尻沢砂防堰堤/長野県）姫川砂防事務所

工 法：INSEMダブルウォール（IN-DW）

完 成：2013年12月

現 場：震源地から約1 km

地震後の状態：

現場の道路は路肩崩壊などで通行止めのため、確認できず。

■その他

テンサーダブルウォール（TDW）、LXウォール（LXW）などの現場も同じく通行止め等のため今回は確認できず。



沢尻沢砂防堰堤（INSEMダブルウォール）完成当初